

国土交通省
革新的河川技術プロジェクト

第1弾

ALL

判定

MATRICE 300 RTKと
グリーンレーザースキャナ

水部も測れるグリーンレーザーで ドローンから地形をスキャン 被災直後の状況を正確に素早く把握

国土交通省の革新的河川技術プロジェクトで誕生し、認められた、
ドローン搭載用グリーンレーザースキャナシステムで被災直後の地形を素早く正確にスキャン。

取得した3次元データで様々な対策を短時間で立てることが可能です。

弊社は、これら技術とノウハウを保有する株式会社アミューズワンセルフと強いパートナーシップを持ち、
あらゆるニーズにワンストップで柔軟に対応可能です。

防災協定により、万が一の災害時にデジタル技術とノウハウで対応します

FUJITA

Daiwa House Group



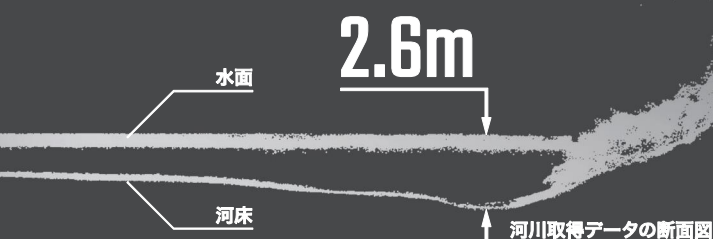
エコ・ファースト企業
環境大臣認定
We Build ECO
Daiwa House Group

グリーンレーザーで水部も可視化

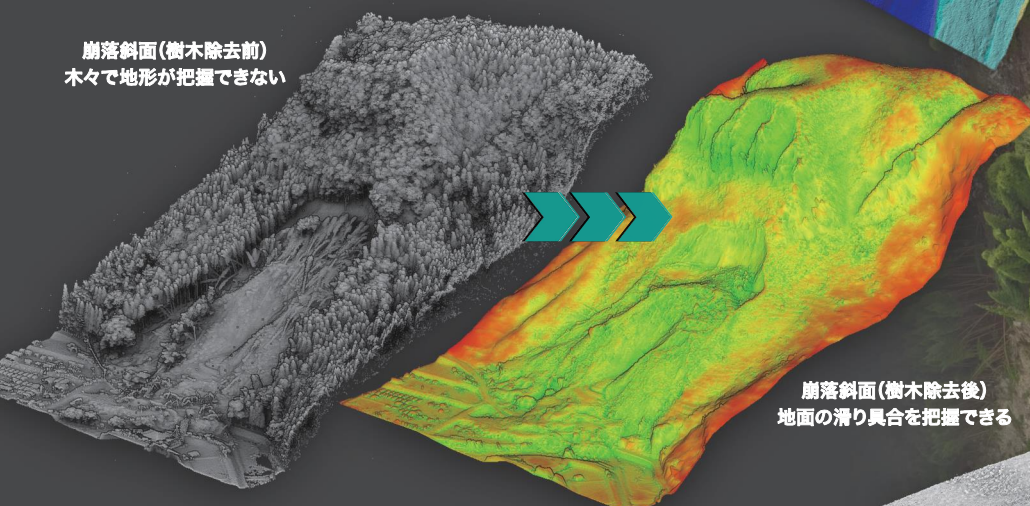
一般の近赤外線波長のレーザースキャナとは異なるグリーン波長のレーザーを用いたスキャナシステムによる測量が可能です。

グリーン波長のレーザーでは、河床や海底地形の測量だけでなく、豪雨による被災地における濡れた地面や斜面あるいは造成地やアスファルトといった黒い表面をも対象物など、一般の近赤外線波長のレーザーでは困難であった測量において威力を発揮します。

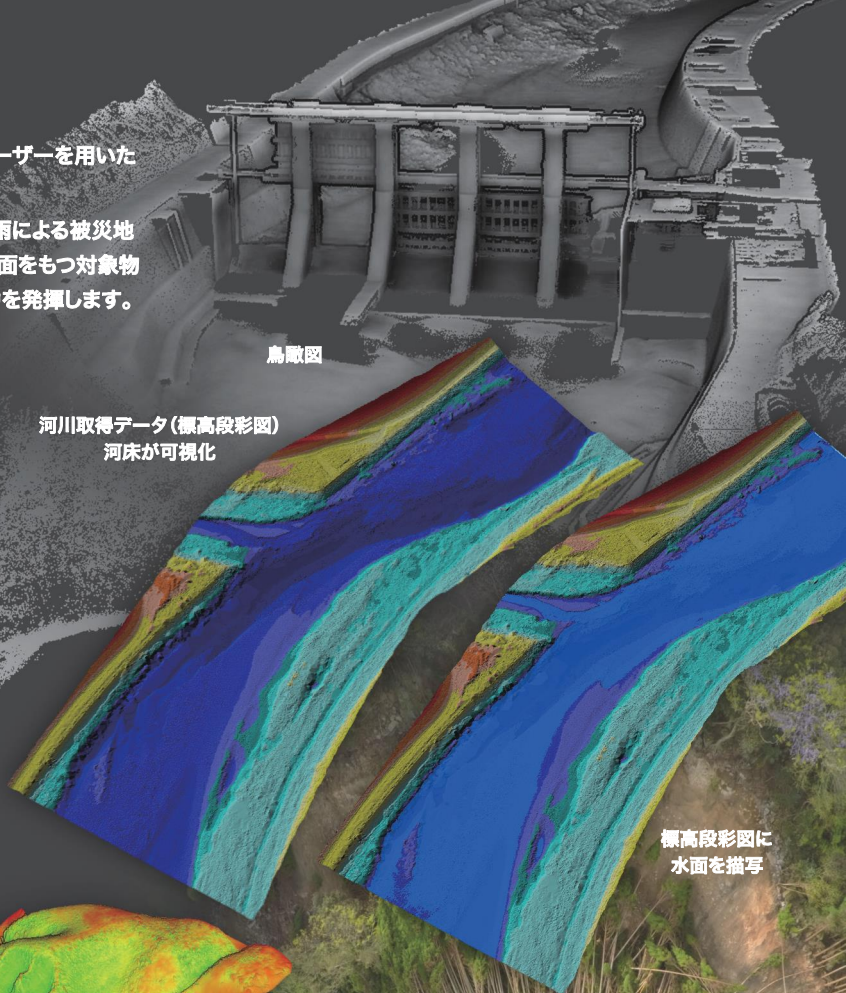
取得範囲比較	近赤外線レーザー	グリーンレーザー
陸部の測量	> ○	○
高高度からの測量	> △	○
水たまりや黒い路面	> ×	○
水部の測量	> ×	○



崩落斜面(樹木除去前)
木々で地形が把握できない



河川取得データ(標高段彩図)
河床が可視化



崩落斜面(現場写真)
ドローンカメラで俯瞰から把握

波消しブロックの
状態を可視化

崩落・洪水の被害状況を素早く分析

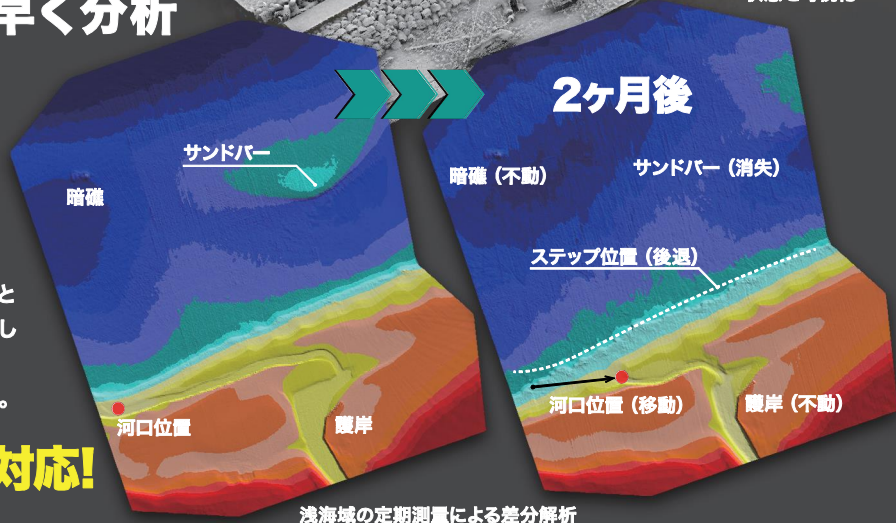
3次元データは木々など地形測量の不要物を解析処理で瞬時に取り除くことができます。これにより、災害現場の被害状況をより詳細に把握でき、2次災害の発生有無など角度の高い分析が容易になります。

また、レーザースキャナの取得データは取得後すぐに閲覧でき、解析にかかる時間はほんの僅かです。

このように、迅速な復旧のために、緊急を要する被災地の調査と被害査定が求められる災害対応から、定期的な地形測量を実施していれば有事の際の差分解析が可能となります。

これら有用なデジタル技術とノウハウで幅広い対策が可能です。

保有技術とノウハウで、迅速に対応!



株式会社フジタ

土木本部 防災技術部

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2修養団SYDビル 〒151-8570 Tel 03-3796-2265

www.fujita.co.jp

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

© Copyright 2022 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., LTD. All rights reserved.

森林育成紙™使用